串間駅 リニューアルオープン！

串間駅舎が３月末、リニューアルしました。

同駅は、串間市の玄関口として1962年（昭和37年）に開業し、60年以上にわたって地域を見守り続けています。

今回のリニューアルは建物の老朽化によるもので、新駅舎には待合スペースの設置、入り口横に駐輪場が整備されるなど、より快適に利用できるようになりました。

通学や通勤、お出かけなどの際に、ぜひＪＲ日南線をご利用ください。

待合室

駐輪場

トイレ
（男女兼用、女性用各１室ずつ完備）

スロープ

ニッチーたちが利用者の皆さんをお見送り♪

リニューアルを記念して４月11日の早朝、市外へ通学、通勤する利用者をお見送りする出発式を行いました。

式は、日南線イメージキャラクターの「ニッチー」や市総合政策課の職員が、利用者にＪＲグッズをプレゼント。出発の際には、ニッチーがかわいく手を振りながら皆さんをお見送りしました★

問い合わせ先 総合政策課地域振興係 ☎55-1153

図書館に行こう Books

今月のテーマ展示「キャンプ」特集

アウトドアに最適な季節がやってきました！キャンプの楽しみ方、キャンプ飯、釣りなど手軽に楽しめる本を集めています。

図書館員がおススメする本の展示も引き続き特集しております。

「がっこうのおばけずかん おちこくさま」

斉藤 洋／作

学校には怖～いおばけがいっぱいいます。でも、このお話を読めば大丈夫！「おちこくさま」をはじめ、「3Dおばけコピーき」「こっちにおいで」など、学校の怖いおばけの話全７話です。

「ひおうぎ」

串間市文化協会／発行

文芸誌「ひおうぎ」が届きました。２年に１回、串間の地域文化の向上を目指し発行されており、短歌・俳句・随筆など各分野の作品が掲載されています。

- **串間市立図書館**
  ☎72-1177
- **開館**＝午前10時～午後６時
- **休館日**＝毎週月曜日
- **ＨＰ**＝https://www.city.kushima.lg.jp/library/index.html

新刊情報

はるか、ブレーメン(重松 清／著)
#刑事の娘は何してる?(新堂 冬樹／著)
ユーチューバー（村上 龍／著）
怪人デスマーチの退転(西尾 維新／著)
合理的にあり得ない2（柚月 裕子／著）
糸暦(小川 糸／著)
殺戮の狂詩曲(中山 七里／著)
キツネ狩り(寺嶋 曜／著)
誰に似たのか(中島 要／著)

イベント情報

大人の趣味講座「ハンドメイド教室」

ペーパーフラワーとレジンでピアスまたはイヤリングを作ります。
細かい作業があります。

- **日時＝６月３日（土）** 午前10時半～正午
- **場所＝図書館会議室**
- **定員＝10名（小学生以下は保護者同伴）**
- **参加費＝300円** ※要申し込み

SDGsの中身を見てみよう その５

【問い合わせ先】
総合政策課企画統計係☎ 55-1152

SDGs「Sustainable Development Goals」（持続可能な開発目標）の中身について今回も紹介していきます。

10. 人や国の不平等をなくそう

世界には、いろいろな不平等があります。

先進国と開発途上国、開発途上国と後発開発途上国（開発途上国の中でも特に開発が遅れた国）、同じ国や地域の中でも豊かな人と貧しい人、男性と女性、健常者と障がいを抱えた人、人種、民族、宗教…。

不平等問題のひとつに、移民問題があります。移民とは、自分が住む国からほかの国へさまざまな目的で移り住む人たちです。移民の受け入れがなぜ問題になるのでしょう？移民が定住することで、自分たちの国の人口に占める移民の割合も増えていきます。移民政策を進めてきたドイツでは、５歳未満の約３人に１人が移民というデータもあります。「自分の周りが異なる文化や宗教、慣習を持つ人になる」ことを嫌がって、移民への嫌がらせをする人や団体も少なくありません。１つの国の中で、もともと住んでいた人たちと移民の間に、いつの間にか感情的な対立が生まれ、差別や不平等な扱いを受けたりするのです。

不平等を減らすには、みんなが違っていることを知り、違いがあるのが当たり前だと理解すること。お互いの違いを認め、相手を大切にする気持ちが、何よりも大切になってきます。

11. 住み続けられるまちづくりを

便利で快適な都市の暮らし。一方で、人口が集中することで、たくさんの問題も起きています。住宅が不足して住居費が高くなる、古くなって危険が増した建物、車の排気ガスで空気が汚れ、交通渋滞も発生。大量のゴミをどうするかという問題もあります。

また、災害の多い地域には、自然災害にも強いまちづくりも必要です。災害があっても、被害を小さく抑えて早く復旧できる。それらを解決する計画的なまちづくりが大切になってきます。

2018年、日本政府は29の自治体を「SDGs未来都市」に選びました。

串間市は、2020年に「ゼロカーボンシティ宣言」を県内で最初に表明しました。地元の豊かな資源を生かした風力発電、木質バイオマス発電、太陽光発電、小水力発電などの再生可能エネルギーが整備され、地域全体で循環型社会の形成に取り組み、持続可能な新しいまちづくりに挑戦しています。

自分の住んでいる地域についても、その魅力やどうなったらもっと住みやすいか、ぜひ考えてみましょう。